









警戒情報！GW は天候が大きく変動する予報

山形県(米沢)		日本気象協会 4/30 発表						
	5/1	5/2	5/3	5/4	5/5	5/6	5/7	5/8
	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)	(月)	(火)	(水)
天気								
気温 MAX	10	9	16	17	18	19	12	20
() MIN	5	4	1	6	6	7	8	5
降水確率	40%	40%	30%	40%	10%	30%	50%	30%

置賜地域の播種作業は、平年並みに行われており、ハウス等での育苗管理の時期となっています。一方、日本気象協会の連休期間中の予報では、連休中盤の 5 月 1 日頃から低温が入る予報となっています。

出芽時の低温による生育の不揃いや、高温による芽ヤケなど育苗障害が発生する恐れがあるため、育苗ハウス等の温度管理に十分注意する必要があります。

このため、以下の点など基本技術に留意し、連休中のきめ細やかな温度管理について、ご注意ください。

1 出芽管理

- (1) 無加温出芽では、均平な育苗ハウスで床土温度を上げてから均一に並べ、寒冷紗を掛ける。気温が低い時は、ポリフィルムや被覆資材を追加し、保温に努める。
- (2) 加温出芽では、事前に育苗器内の温度が 30 になる様に調整し、適温を維持する。

2 育苗管理

- (1) 晴天になると高温障害が発生しやすくなるため、ハウスの温度管理に注意し、早めにハウスを開放する。
- (2) 加温出芽では、緑化のため、幼芽が 8 ~ 10 mm の頃に苗床に苗箱を並べる。白化防止のため、必ず寒冷紗等で覆って、直射日光や急激な温度変化に遭遇させないように対応する。
- (3) 出芽後 2 ~ 3 日程度は、寒冷紗の上をポリフィルムや被覆資材で覆って、昼温 20 ~ 25、夜温 15 ~ 20 に管理する。灌水は控えめに行う。
- (4) 温度較差が大きい場合、床土の過乾、過湿は病害発生の原因となる。被覆資材は掛けのままにしない。苗の生育ムラを作らないよう過剰な灌水に注意し、苗箱の表面が乾いてきたら灌水する。